

子育て世代の女性層を対象にしたネットワーキングイベント 日本原子力発電が開催した「げんでんスマイルフェア」

(語り手) 日本原子力発電・広報室 神谷真美

日本原子力発電は、東海発電所の展示館である東海テラパークにおいて「げんでんスマイルフェア」を開催した。原子力に関心の薄い20〜40歳代の女性層を対象にしたこのフェアでは、親子で参加できるイベントや子育てに役立つセミナーの開催など、子育て世代を支援する内容で同発電所を身近に感じてもらうとともに、原子力への理解を促した。積極的に若い世代へアプローチする同社の取り組みを紹介する。

(編集部)

新しいアイデアを繰り返し検討

——日本原子力発電・東海発電所の展示館「東海テラパーク」

「では、先般子育て世代向けの「げんでんスマイルフェア」を開催されましたが、そのきっかけ、狙いは何だったのですか。

神谷 当社では、これまでにも地域でのコミュニケーション活動の一環として女性層に当社への親近感を高めていたことを目的に、原子力館などをカルチャー教室や展示会等の場として提供し、地元女性層のコミュニケーションに努めています。

原子力に関する意識調査などを見ると、男性に比べ女性の方が原子力への関心度が低く、不安度が高くなっている。

特に20〜40歳代の女性にその傾向が顕著に見られるようです。このような傾向を考えると、今後はこれまでの活動の重点をもう少し若い世代にシフトしていくことが重要ではないかと考えました。

そこで、現行の女性を対象とした活動をもとに平成16年度下期から、茨城県東海村と福井県敦賀市を中心に20〜40歳代女性層に対し、原発への好意度を高めていただく活動

「げんでんスマイルフェア」のチラシ

子育て世代を支援するイベントに

——子育て世代の女性を対象にしたフェアということですが、具体的にはどのような内容で開催されたのでしょうか。

神谷 もともと東海テラパークは、小中学生を対象にした実験教室や大人の方々を対象にしたカルチャー教室などを開催しており、お蔭さまで昨年は年間5万7000人の来館者のうち、半数以上はフリーのお客さまにお越しいただいています。

は、小さいお子さんを連れたい親子で大賑わいになります。そこでここに集まる世代を対象にイベントを工夫することにしました。

世の中では、少子化問題やお母さん方の子育てへの不安などの問題が取りざたされていたこともあり、お母さんを応援しようということで8月を「子育て世代応援月間」と位置付け、お母さん支援やお子さんと一緒に遊ぶ場所を提供することにしました。期間中8月8日、9日の2日間は「げんでんスマイルフェア」とし、子育てを支援するミニイベントを実施しました。

を展開することとしました。活動をあつては、①20〜40歳代女性層の関心事を把握する、②現在実施しているイベントを20〜40歳代女性層向けに工夫する、③当社から直接情報提供できる関係を作る、という3つの方針を立てたのです。

女性といっても、ライフスタイルは様々で、関心事も多種多様です。いざアプローチの方法を考えると、何をテーマにどのようなイベントを開催すればお客さまに来ていただけるのかわからず、手探りの状態でした。当社の広報部門である東海事務所と敦賀地区本部業務立地部の担当者と練

り返し検討し、それぞれの地区にあった活動のアイデアを出し合い進めることにしました。

実は、「スマイルフェア」を開催する前に、3月に子育て世代を対象としたイベントに挑戦していました。このイベントの内容は、赤ちゃんの